

令和六年度採用 山梨県公立学校教員選考検査

中学校（国語）

「始め」という合図があるまで、このページ以外のところを見てはいけません。

注 意

- 一 この問題は三問六ページで、時間は六十分です。
- 二 解答用紙は、別紙で配布します。「始め」の合図で始めてください。
- 三 解答は、それぞれの問題の指示に従って解答用紙に記入してください。
- 四 「やめ」の合図があったら、すぐやめて係の指示に従ってください。
- 五 解答用紙を持ち出してはいけません。

中学校国語

□ 次の文章を読んで、一〜八の問いに答えよ。（*は注を表す。）

※著作権法により掲載を省略します。

※著作権法により掲載を省略します。

野矢茂樹『語りえぬものを語る』より（作問の関係上、一部を省略した。）

一 「不可解」^a、「戯れ」^cの読み方をひらがなで記せ。

二 「ハギ」^b、「ビミヨウ」^dを漢字に直して記せ。（楷書で正確に書くこと）

三 「何ごとかを知る適切なルート」^①とあるが、どのようなものか、二十五字以上三十字以内で具体的に記せ。

四 「道が濡れていない」などという観察はまだ真のスタート地点とは言えないだろう」^②とあるが、このことを説明した文として、最も適当なものを次のア～エから一つ選び、記号で記せ。

ア、観察は、知識の出発点として、われわれに直接与えられたものではないと考えられるため、「道」や「濡れる」という概念をもっている人間であっても観察することができず、根拠にならないということ。

イ、知識がそこから出発すべき最初の地点として、「感覚所与」^{センスデータ}が考えられたとおり、「道」だとか「濡れる」といった概念はいつさいの知識を含んでいない、非概念的な経験になっているということ。

ウ、知識の本当の出発点にある所与は、完璧に無知の人間にも観察できなければならず、「道が濡れていない」という観察には、「道」や「濡れる」という概念が含まれ、非概念的な経験になっていないということ。

エ、知識の本当の出発点には、非概念的な経験としての観察があるはずであり、「道が濡れていない」という観察は、本当にもう表現しようのない非具象的な世界となっているということ。

五 文中の() にあてはまる言葉を漢字二字で記せ。

六 「語られた知識を支えるのは、語られた観察だけなのである」とあるが、どのような意味か。「語られた」という言葉明らかにし、「言語」、「証拠」という言葉を使って五十五字以上六十字以内で説明せよ。

七 「非概念的な動物的生」とあるが、どのようなことか、三十五字以上四十字以内で説明せよ。

八 次は、中学校学習指導要領に示されている、国語科の目標である。A、B、C にあてはまる言葉を記せ。

言葉による見方・考え方を働かせ、Aを通して、国語で正確に理解し適切に表現する資質・能力を次のとおり育成することを旨とする。

- (1) 社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。
- (2) 社会生活における人との関わりの中でBを高め、思考力や想像力を養う。
- (3) 言葉がもつ価値を認識するとともに、Cを豊かにし、我が国の言語文化に関わり、国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

二 次の文章を読んで、一～五の問いに答えよ。

※著作権法により掲載を省略します。

※著作権法により掲載を省略します。

和辻哲郎「茸狩り」(『和辻哲郎随筆集』所収)より(作問の関係上、一部を省略した。)

一 「^a威敵」の意味を記せ。

二 「^①こういうふうな感じの区別」とあるが、どのようなことか、二十字以上二十五字以内で記せ。

三 「^②教え込まれた茸の価値」とあるが、どのような価値か、本文中から十四字で抜き出して記せ。

四 「^③この茸と同じき構造をもつ」とあるが、どのような構造か、六十字以上六十五字以内で説明せよ。

五 この文章の表現の特徴とその効果について述べた文として、最も適当なものを次のア～エから一つ選び、記号で記せ。

ア、トルストイの『戦争と平和』の描写を引用することで、茸に対する価値と子供時代の生活が離れ難いものであったことを具体的に伝えている。

イ、茸狩りで出逢う茸の様子を触感を用いながら描写することで、子供たちにとって茸を見つけたことが大事件であったことを象徴的に伝えている。

ウ、子供時代に食卓を囲む様子を家族の会話を中心に表現することで、子供時代に家族から教わった茸の味のよさを感情豊かに伝えている。

エ、茸狩りの様子を擬人法を用いて描写することで、自分が子供時代に茸狩りに没入し、感じていた寂しさや喜びを印象深く伝えている。

三 次の文章を読んで、一～六の問いに答えよ。

※著作権法により掲載を省略します。

『土佐日記』（新日本古典文学大系）より（作問の関係上、一部表記等を改めた。）

一 「^aまうして」、^b淡路^{あはぢ}を音読する場合、その読み方をすべてひらがなで答えよ。

二 「^Aる」の品詞・活用形を記せ。

三 「夜中ばかりより船を出だして」^①とあるが、その目的を説明せよ。

四 「追風止まず吹かなむ」^②を現代語訳せよ。

五 「うれしかりけれ」^③とあるが、何がうれしいのか、十五字以上二十字以内で記せ。

六 この作品は日記文学と呼ばれるが、その文学史的な特徴を、次の条件に従って説明せよ。

【条件】

- ① 作者について触れること。
- ② 土佐日記以前の他の作者の日記と比較すること。